

演題Pick Up! 青木 雅人 医師によるポスター発表

骨粗鬆症性腰椎椎体骨折による下肢神経根症に対して Vertebral Body Stenting System (VBS)は有効である

脚の痛みはせぼねから!? VBS手術による治療法



年齢を重ねて骨が弱くなると、背骨が押しつぶされるように折れて、神経の通り道が狭くなり(狭窄症)、足の痛みやしびれ(下肢神経根症)を引き起こすことがあります。この症状に対して、VBSという治療法が有効かを調べました。

胸椎・腰椎 椎体骨折とは



高齢者に多い、骨が圧迫されるように折れる骨折。くしゃみや日常動作で起こることも!

VBS

ってどんな手術?

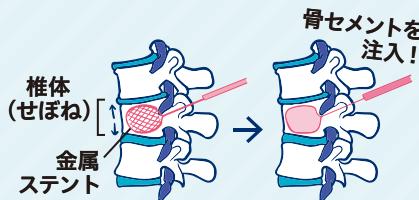
Vertebral Body Stenting System

=椎体 =ステント(支え)

VBSを紹介!



潰れてしまった背骨の中に小さな金属の支え(金属ステント)を入れて一度持ち上げ空間を作り、その空間に骨セメントを流し込んで形をキープする治療です。



BKPに比べ、金属ステントを入れることで、レボリューション式を入れるよりもくになります!



VBSのメリット

体への負担が少ない!

手術は短時間! 傷も約5mm(2か所)と小さく、出血もほとんどありません。

今後の椎体骨折を予防!

後弯変形(ねこぜ)を改善することにより腰痛も軽減し、他の椎体の骨折予防にもつながります。

患者さんが感じた痛みの変化を 6症例で調査!

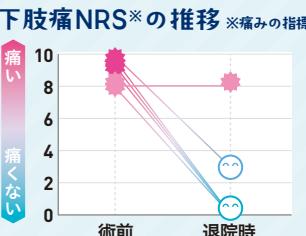
調査対象 2021年6月～2024年5月にVBSを施行した68症例のうち、下肢痛による歩行困難のため入院となった6症例。

痛みが改善!

退院時の下肢痛:消失4例、軽減1例、不变1例
(不变1例は後に別の手術を行いました)

退院時の腰痛:消失2例、軽減4例

歩行能力:手術前は車いす2例、歩行器が4例でしたが、退院時には、杖が3例、何も使わずに歩ける人が3例に。
全員の改善が見られました。



腰の痛みの治療法ですが、 下肢痛にも有効!

本来、VBSは腰の痛みを軽くすることを目的とした治療で、足の痛みが強い方、つまり骨折で神経が圧迫されている方には向かないと言われていました。今回の研究では、重度の狭窄症でない場合は、VBSで折れた骨のグラつきを安定させることで神経への刺激が減少し、結果として足の痛みも良くなることがわかりました。

足の痛み・しびれがある方へ 重症化する前に ご相談ください!

高齢の方でも重大な既往疾患(心不全、肺障害、脳梗塞など)がなければ対応可能です!
変形が進んで狭窄症になる前に受診を検討してください。



専門外来は
こちら!

整形外科センター
西能クリニック
せぼねの外科外来

診療日 第1・第2・第4火曜日
診療時間 16:00～18:30
予約・お問合せ
076-422-1551

